

開成館活用の歴史—多目的使用

安積疏水通水式の実施

明治12年(1879)10月27日に、開成山大神宮において「猪苗代湖疏鑿起業ノ式」が行われた。翌日から、安積疏水開さく工事が開始された。

国営安積疏水開さく事業は、国営安積開墾事業を実施するにあたり、新たに用水を確保する必要から行われた工事で、猪苗代湖の水を東側へ流す大工事であった。

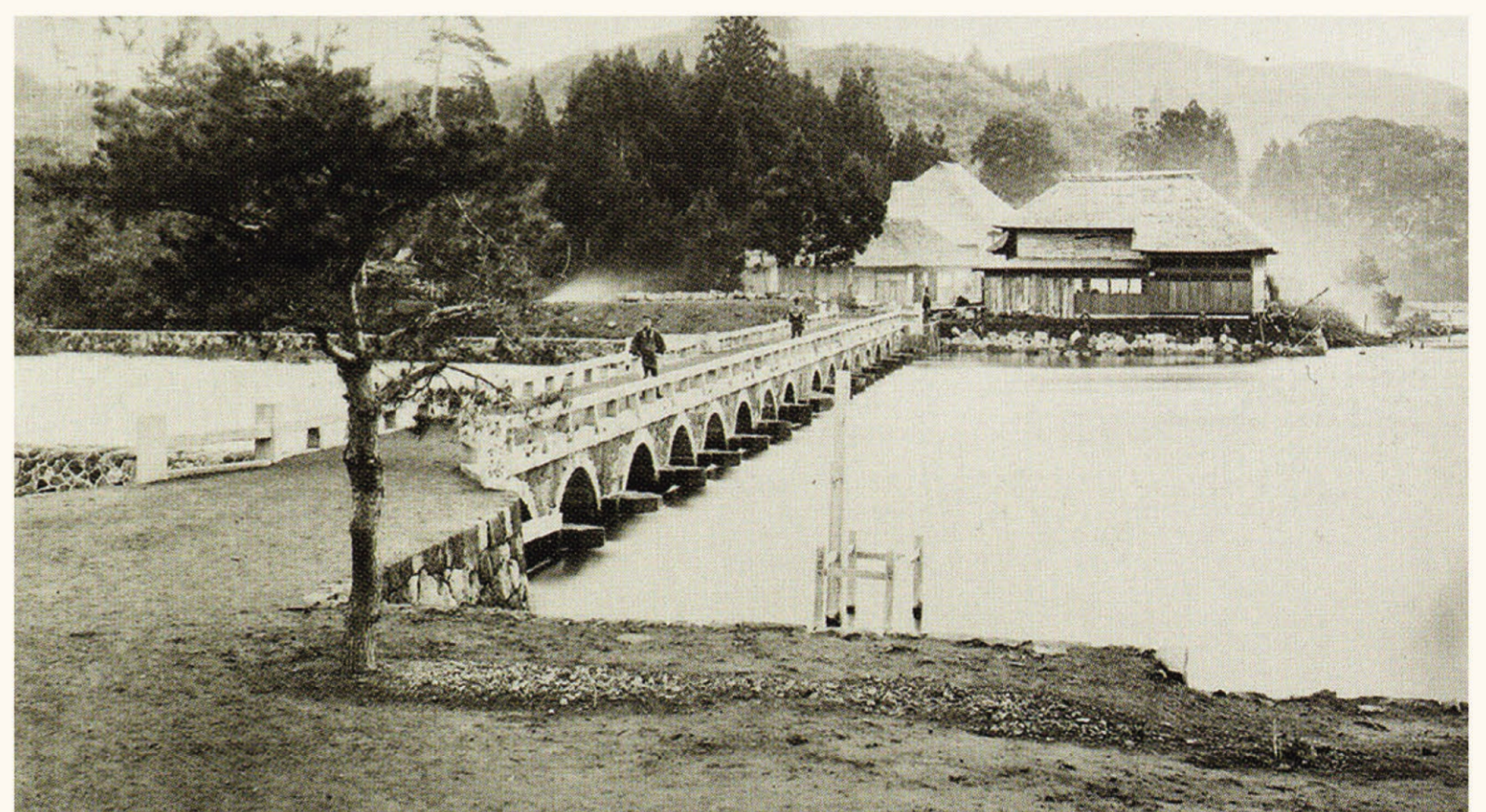
工事は約3年をかけて行われ、明治15年(1882)10月1日に安積疏水の通水式が挙行された。通水式前日は、郡山村の共楽園(現在の麓山公園)に宴会場が設けられ、西洋料理が供されるなど賑わいを見せたが、天候が崩れ、式当日は終日雨となった。開成山大神宮で告祭式を行った後、通水式は開成館において行われた。また、休憩の後の宴会も開成館で開かれた。



創建当初の開成山大神宮
画像提供・郡山市



安積疏水麓山の飛瀑
皇居三の丸尚蔵館収蔵
『各地勝景五 山形・安積疏水ほか』より「猪苗代湖疏水工場撮影第十三図 郡山分水滝」
完成当時の麓山の飛瀑の姿



十六橋水門
皇居三の丸尚蔵館収蔵
『各地勝景五 山形・安積疏水ほか』より「猪苗代湖疏水工場撮影第二図 十六橋水上の図」
完成当時の十六橋の姿

十月一日通水式典ヲ挙ク、是ヨリ先キ安積人民
疏水工場ノ高麗管見少シモ遠ハス、山ヲ劈キ
河ヲ穿リ、溝渠運流ノ水除キ、昼夜停マラザル
ヲ、工事ヲ急ニ進メ、水ノ聲ノ響クニ至リ、連合
会ヲ開キ、郡内ニ委員ヲ設ケ、助ケント欲セリ、
是ニ於テ、郡内ニ委員ヲ設ケ、助ケント欲セリ、
ヲ行ハシム、既ニシテ東京ヨリ岩倉右大臣、宮内
大臣、農商務三卿諸官及ヒ近隣八県令臨マ
ルト聞キ、一層氣ヲ増シ、式場及ヒ宴会ノ修飾
ニ注意ス、已ニシテ大臣諸卿廿四日ヲ以テ東
京ヲ発セラレ、廿七日ニ至リ官吏ヨリ小学生
徒市中有志等之ヲ郊外ニ遊ブ、市中ニ入レハ
吹花ヲ以テテス、花門高ク三所ニ遊ヒ野台ノ弦
ノ城ト云モ過言ニアラザルベシ、翌日大臣
参議若松ニ向テ發出セララル、順路疏水工場及ヒ
開墾実況ヲ巡覽アリ、三十日ニ至リ郡山ニ帰
館ス、是夜共楽園演舞ニ於テ宴會場ヲ設ケテ
洋食ヲ供ス、園内球燈數百ヲ掲ケ、野台ヲ構ヘ
テ舞妓ヲ奏ス、撃剣會アリ、工器械ノ博覽場
アリ、煙火アリ、此盛事アルヲ聞キ来リ博覽場
數万人、市街ヨリ轟野ニ至ルノ間人ノ多キ
古來稀ナル盛式ナリ、然レトモ午下ヨリ天色
シ、小雨降リ来リ、夜ニ入り大風雨ニ變シ米
スル者治ルニ所ナク、路傍ニ滯立スル者ア
ルモノカ、是日ニ至レトモ風雨已マシ、然レトモ予
期ノ如ク、開成山大神宮ニ於テ臨時祭ヲ行ハ
レ成功ヲ告ケ終リ、開成館上ニ式場ヲ設ケ、
大臣、参議、諸卿令、官吏、有志集リテ式ヲ行ハ
レ、農商務諸卿ヲ受ク、第一ニ岩倉右府祝詞
ヲ朗読セラル、次テ松方卿、宮内卿ナリ、農商務
卿答辭ヲ朗讀シ、其後祝詞アル者ハ皆卿ニ奉
呈ス、式畢リテ宴會ヲ開カサル、金ニ与カル者五
百人、是日翌上ヨリ諸開墾社ハ五百門、福島県
ヨリ三百門、右府公ヨリ百五十門惠授セラレ

安積疏水通水式
『開成社記録』より抜粋 郡山市中央図書館蔵
明治13年(1880)3月についての記載内容
読点「、」を加えた。